

自由民主党
いわせ和子



問 この先、町田市はどのようなにして皆が幸せを感じられる、未来のある地域社会を実現していくのか。

市長 現在策定している(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040は、誰もが夢を描くことができ、幸せを感じられるような「まちだの未来」をつくるために、多くの市民の皆様から意見を伺っております。将来の社会変化をしっかりと見極め、新たな価値を生み出し続けることで、多くの方に選んでいただけるような、住み続けていただけるような「きらめく町田」を未来につなげてまいります。

問 「子どもにやさしいまち」の今後の展開はどう考えているか。

市長 世界というものはおこがましいですが、日本における子ども施策の発展に寄与することが町田市の使命であると考えております。

問 スノーピーミュージアムと連携した校外学習は、具体的にどのような取り組みか。

市長 児童が英語で示されたミッションを展示物から探し出して英語で答えることや、キャラクターに関する英語のクイズを絵にあらわして答えるなど、話すこと、書くこと、読むことにつながるような体験学習を提供してまいります。

問 市内中小企業の事業承継について、今後どのように支援していくのか。

市長 町田市は独自に、事業を受け渡す側を対象とした事業承継支援補助金を設けてまいります。これは、多摩26市で初めての取り組みとなります。具体的には、市内に本

社を置き、社内の事業承継やM&Aを実現しようとする中小企業に對しまして、事業承継の初期診断や計画作成、M&Aの仲介経費などを補助するものでございます。引き続き、ネットワークの強みを生かした支援、事業承継資金融資を行い、市内事業者の円滑な事業承継を促進してまいります。

問 「(仮称)都市づくりのマスタープラン」の策定は、都市づくりにつつまる全ての分野の計画を一元的に策定し、20年先を見据えた一貫した都市像を描いて、分野横断的かつ一連した施策展開につなげるものであります。こうした取り組みは、全国的に例を見ない先導的、意欲的なものでございます。町田市に暮らすことがより楽しく、快適で魅力的になるような時間の過ごし方、暮らし方を提案する計画といたします。

問 2040年代に向け、テクノロジーを活用して行政経営をどのように進めていくのか。

市長 最先端のテクノロジーを積極的に活用することにより、市民が質の高いサービスをあらゆる場面で享受できる社会、いわゆるSociety 5.0の実現を目指していきたくと考えております。

問 新型コロナウイルス感染症対策の市の対応の経過は。

市長 町田市は保健所政令市の強みを生かし、日常的な相談窓口に加え、感染が疑われる方が利用できる帰国者・接触者電話相談センターをいち早く、2月7日に保健所内に設置しております。このセ

代表質疑から

本定例会では、条例・その他の議案、予算、施政方針について各会派の代表質疑を行いました。代表質疑は一括して各会派の持ち時間内で行い、大会派順に発言をします。

公明党
山下つや



問 新型コロナウイルスの感染拡大で、中小企業の資金繰りが悪化するなどの報道がなされている。市内事業者からどのような声が届いているか。また、どのような対策を行っているか。

市長 関係団体にヒアリングなどを随時実施しています。金融機関によりまして、幅広い業種からの相談を受け、件数も日々ふえているとのこと。市として、町田市中

問 国では施行中の工事等を一時中止するなどの対応を行ったが、市ではどのような対応をしたのか。

市長 市施行中の工事などにつきまして、契約事業者に一時中止の意向があるか確認してまいりました。結果として申し出はなく、工事を継続しているところでございます。

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、基礎疾患のある方など、外出を控えた市民の中には、プレミアム商品券を使用期限内で使い切ることができず、手元に残ってしまった方がいる。使用期限の延長や商品券の返金はできないのか。

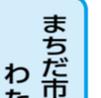
市長 国は制度設計により実施している事業で、現状ではできないということ。今後とも国の動向を注視してまいります。

問 町田市民病院の呼吸器内科の常勤医師が充足された。

これに伴い、診療体制は整備されたが、今後の対応について確認したい。

病院事業管理者 4月から呼吸器内科の医師が補充されることで、感染症による疾患に對して専門性の高い適切な処置が可能となり、市民が安心して生活できる体制が整備されると考えています。

まちだ市民クラブ
わたべ真実



問 「子どもを産み育てたい人たちの希望を叶えられるような環境づくり」の中に中学校給食もあると考える。市長の中学校給食に対する考え方と町田市の方針は。

市長 学校給食法に基づきまして中学校において給食を実施しております。生徒や保護者が選択できる環境の整備が大切であると考え、弁当併用外注方式による給食を実施しております。今後も、内容の充実を図ってまいります。

問 現在の選択式デリバリー給食の喫食率向上の効果が見込めないと判断したときの対応は検討しているか。

学校教育部長 新年度から生徒からのリクエストを献立に取り入れることなど取り組みを見直すのか。

市長 避難施設や備蓄品等の課題について反映するほか、東京都地域防災計画の修正内容を踏まえて修正いたします。また、市が被災した際、他自治体等からの応援を円滑に受け入れるため、受援計画を策定する予定でございます。

問 保育や子どもの居場所をさらに充実させ、子育てしやすい環境を整えることあるが、一方で幼保無償化による課題が取りざたされている。今後、どのように取り組んでいくのかを確認したい。

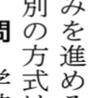
市長 保育園、幼稚園の事務負担を軽減するための支援を行ってまいります。また、私立幼稚園では、特色のある取り組みを行っており、幼児教育の振興を進めていける支援策を検討してまいります。

問 町田市を代表する観光拠点である町田薬師池公園四

季彩の杜西園における障がい者のための取り組みの検討について確認したい。

市長 指定管理者からは、花壇管理、物販等の業務に関して提案をいただきました。今後も障がい者団体等との連携を図ってまいります。

まちだ市民クラブ
わたべ真実



問 「子どもを産み育てたい人たちの希望を叶えられるような環境づくり」の中に中学校給食もあると考える。市長の中学校給食に対する考え方と町田市の方針は。

市長 学校給食法に基づきまして中学校において給食を実施しております。生徒や保護者が選択できる環境の整備が大切であると考え、弁当併用外注方式による給食を実施しております。今後も、内容の充実を図ってまいります。

問 現在の選択式デリバリー給食の喫食率向上の効果が見込めないと判断したときの対応は検討しているか。

学校教育部長 新年度から生徒からのリクエストを献立に取り入れることなど取り組みを見直すのか。

市長 避難施設や備蓄品等の課題について反映するほか、東京都地域防災計画の修正内容を踏まえて修正いたします。また、市が被災した際、他自治体等からの応援を円滑に受け入れるため、受援計画を策定する予定でございます。

問 保育や子どもの居場所をさらに充実させ、子育てしやすい環境を整えることあるが、一方で幼保無償化による課題が取りざたされている。今後、どのように取り組んでいくのかを確認したい。

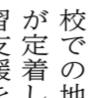
市長 保育園、幼稚園の事務負担を軽減するための支援を行ってまいります。また、私立幼稚園では、特色のある取り組みを行っており、幼児教育の振興を進めていける支援策を検討してまいります。

問 町田市を代表する観光拠点である町田薬師池公園四

みを進める予定であり、現別の方式は考えていません。問 学校教育では、「英語教育に先進的に取り組む」ともICT環境の整備にも力を入れる」とある。指導者の研修はどのように進めているのか。

市長 英語教育の研修は、英語授業の指導力がある教員による授業公開や、ALT活用研修などを実施してまいります。20年度からは英語授業指導員であるMETSが、英語の授業について直接の助言や、校内での研修をすることで実践的な研修ができると考えております。ICT活用に関する研修は、機器を活用した授業公開研修などを産官学の連携で行ってまいります。また、教育委員会研修の中でタブレット端末を活用することで、アプリケーションのさまざまな活用方法を学べる機会としてまいります。

まちだ市民クラブ
わたべ真実



問 また、日本語の学びについても重要であるが、どう考えているのか。学習における子どもや日本語を母国語としない子どもたちの支援はどうしていくのか。

市長 日本語の学びにつきましては、全ての学習の基盤です。新学習指導要領では、言語能力を学習の基盤となる資質、能力と位置づけ、国語科をかなめとしながら、全教育活動で取り組んでいくこととしております。

問 今後のまちづくりのイメージは。

都市づくり部長 20年先を見据えて一貫した都市像を描き、分野横断的かつ一連した施策展開につなげるものです。共通した都市像をもとに分野間の整合を図り、市民の時間の過ごし方、暮らし方を提案するプランとしてまいります。

問 「(仮称)都市づくりのマスタープラン」として2040年を目標とするプランは、これまでの「交通マスタープラン」、「緑の基本計画」、「都市計画マスタープラン」などを一つにまとめたものとなるが、その意義と総合的なまちづくりのイメージは。

都市づくり部長 20年先を見据えて一貫した都市像を描き、分野横断的かつ一連した施策展開につなげるものです。共通した都市像をもとに分野間の整合を図り、市民の時間の過ごし方、暮らし方を提案するプランとしてまいります。

問 「(仮称)都市づくりのマスタープラン」として2040年を目標とするプランは、これまでの「交通マスタープラン」、「緑の基本計画」、「都市計画マスタープラン」などを一つにまとめたものとなるが、その意義と総合的なまちづくりのイメージは。